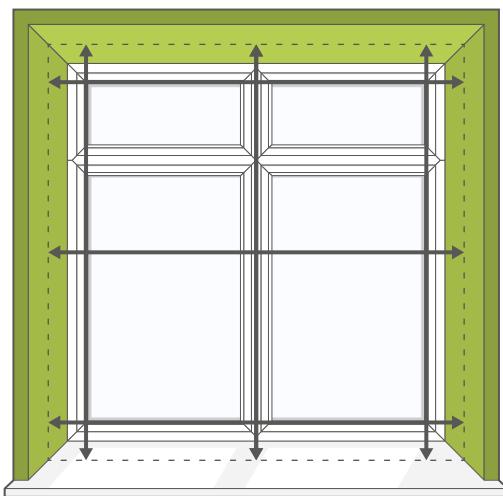


このガイドでは「天井付け」（窓の内側に取り付ける方法）と「正面付け」（窓枠の上の壁に取り付ける方法）での採寸手順を説明しています。このガイドに従って必要寸法を採寸しましょう。

天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、最も小さな数値でご注文下さい。
- お客様がゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするよう製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右0.5cmずつ、合計1cm小さく製作します。丈は1.5cm短く製作します。
- 金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：

ブラインドを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかも併せてチェックしてください。



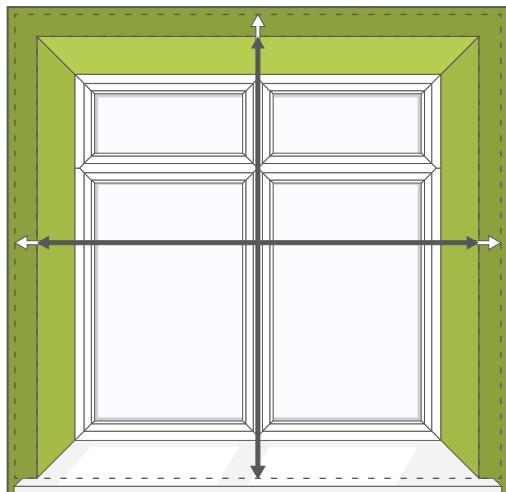
必要な奥行き

バーチカル・シアーブラインド

19cm

注意：スラットを開いた状態（薄手のレースの状態）では窓枠との間に7.5cmの隙間ができます。スラットを閉じる（厚手のレースの状態）と隙間はなくなります。

正面付け 窓枠の外側に取り付ける場合



「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- 窓枠外寸を測ります。
- 光漏れを防ぐために、窓の上に10cm以上、左右に15cmずつ以上の重なり分量を追加するのがおすすめです。
※正面付けの際は、操作時に生地が引きずる恐れがあります。仕上がり丈は1.5cm短くしてご指定いただくことを推奨しております。
- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

注意：

- ・ 窓枠（木枠）に直接ビスで取り付ける時は、木枠上部の縦幅が最低4cm必要です。実際の取り付け金具の縦幅は4.8cmになりますが金具が正面から見えることはありません。
- ・ カーテンヒダの奥行は約19cmです。カーテンボックスの中に取り付ける場合、ヒダを綺麗に出すためボックス内の奥行が19cm以上あることをご確認ください。